

晩秋に近く、まもなく冬を迎えようとしている北海道です。

今回は一度行きたいと思いつながらなかなか行けなかった札幌大倉山ジャンプ競技場に紅葉観賞へと出かけました。住宅街のなか、急勾配の坂道を登る事10分少々と思ったよりも近くでした。

こちらは1972年、日本で初めての冬季オリンピックが開催された時のジャンプ競技場です。私はまだ12才でしたが、日本の日の丸飛行隊(笠谷・金野・青地)が金・銀・銅と表彰台を独占したニュースをはっきり覚えています。史上初の快挙が実現したジャンプ競技場として今も多くの人が観光に訪れています。

着地点からリフトに乗れば頂上へ行くことが出来、大倉山展望台から眺めればジャンプ台の先に紅葉と札幌市内の絶景を見ることが出来ます。夜になると日本新三大夜景の札幌を觀賞出来るのでこちらも人気のスポットになっています。

札幌営業所(所長:利川 光浩)

関東地方は(東京というか関東平野が正しいのか)比較的暖かい土地だという印象があります。節季は立冬から、小雪へと移りかわり、12月となると大雪、冬至。この日は柚子湯に入り、かぼちゃを食べると風邪を引かないと言われていましたね。

さて、国内のコロナ感染状況も数字上では終息に向かっており、たいへん喜ばしいところではありますが、海外を見ているとまだまだ感染リスクは高く、油断は禁物といったところでしょうか。ちなみに、コロナではない時期、多くの人で賑わう銀座もコロナピーク中は閑散としていたのですが、また人が集まり戻り始めたようです。

それはそれで嬉しいことだとは思いますが、ただ海外の方の割合が少ないかなとも見えました。ですので、まだ本調子ではないということですかね。

肌寒くなってきたように思いますが、ただ日が照るとぬくもりがあり陽気です。平穩に年末を迎えられるよう、注意したいと思います。

東日本物流センター 東日本営業本部(センター長:木下 敦裕)



世界の拠点から

-From the base in the world-



子供の頃からお世話になっている食品で現在も続いている商品ってありますよね。スナック菓子などもそうですが、日清カップヌードルは日本人の成人の方なら誰でも1回は口にしたい事があるのでは?と思うくらいの認知度ですね。1971年9月に発売して今年で50周年。色々な味を追加しながら現在に至っています。

さて、今回は大阪府池田市にあるカップヌードルミュージアムに行ってきました。キレイな建物の外には安藤百福像があり、よく見ると土台がカップヌードル。中に入るとコロナ禍で入場制限や、手で触れる展示等は禁止になっています。壁一面に飾ってあるカップヌードルを始め、UFOやどん兵衛などインスタント麺の初期から現在までのサンプルがずらり壁から天井まで並んでいます。初期のチキンラーメン開発小屋などの再現や開発裏話のムービーなど色々勉強になりました。自分でオリジナルのカップヌードルが作れる場所もあります。

安藤百福氏の発明が世界に浸透させたカップヌードル。私はノーマルとシーフードが好きですが、皆さんはどのカップヌードルが好きですか?



大阪営業所(所長:藤谷 弘行)

皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回は名古屋市中川区にあるパーミキュラビレッジを紹介いたします。

パーミキュラビレッジは名古屋市内を流れる中川運河沿いにあります。もともとは繊維産業が盛んだった愛知県で、ドビー織機を製造するメーカーだった愛知ドビーという会社が運営しています。繊維産業の衰退でドビー機が売れなくなり、その後船舶・建機向けの鋳造部品等の製造へ転換しましたが、これらも海外品に仕事を奪われ業績が悪化していく中で、現社長・副社長の兄弟が鋳物ホーロー鍋パーミキュラの製造・販売をし始めたのがきっかけとなり、現在は主力のパーミキュラメーカーへと変わっています。

そのパーミキュラのアンテナショップ的な場所が、パーミキュラビレッジになります。国内で唯一、購入前に味や使い方を試すことができる体験型のショップになっています。(結構高価な鍋なので試せるのは良いと思います...)

またレストランやベーカリーも併設され、そこでパーミキュラを使って調理した料理などの食事を楽しむこともできるようになっています。興味を持たれた方は一度足を運ばれてはいかがでしょうか。

名古屋営業所(所長:高橋 鉄夫)

緊急事態宣言が解除され、新規感染者数も右肩下がり。自粛生活から少し解放されるかと思うと、気持ち的には少し前向きになれるようになりました。とはいえ、ここで油断すると、また元の木阿弥なのではないかと...。もうしばらくの辛抱だと自分に言い聞かせる毎日です。

さて先日、実は『猫カフェ』デビューをして参りました。もともと動物自体が苦手だった私。昨年末、ひよんなことから野良猫を飼い始めたことがきっかけで、すっかり猫好きとなってしまった私の偉大なる(?)挑戦です(笑)。

場所は自宅のすぐ近くにある猫カフェ。この猫カフェは里親募集型の保護猫カフェで、カフェで猫に癒される時間を楽しむことはもちろん、気に入った猫がいれば里親として引き取ることも可能なようです。コロナの関係で完全予約制でしたが、1時間フリードリンクと猫たちとまったりするには十分すぎるくらいのサービスです。家にもいるキジトラをはじめ、茶トラに三毛猫、ハチワレにサバトラと和猫の種類ならほとんど見ることが出来ます。猫たちとじゃれあいながらふと、もちろん色々な事情があって保護猫になったんだと思いますが、改めて命の尊さを感じる時間でもありました。

ちなみに帰宅後は我が家のやんちゃ猫に身体中を嗅ぎまわされ、拳句の果てにはしばらくの間触らせてもらえないというオチも。浮気はやっぱりダメだと反省をした一日でもありました(泣)。

福岡営業所・沖縄配送センター(所長:江頭 慎司)

最近の週末はジョギングをしたり、美味しい料理を食べに行ったりしています。

私の姉の息子は大きなショッピングモールにある日本食レストラン(美人鍋)で料理人をしています。先月家族で美人鍋レストランへ食べに行きました。そのレストランは鍋料理だけでなく、色々な料理があります。料理人がみんなインドネシア人で経営者は日本人です。今の料理人は、日本人から料理の作り方を教えられ、その後はすべてインドネシア人が料理を作っています。鍋料理のスープの主な材料はコラーゲンです。インドネシア風のあまり辛いチリも用意されています。家族も自分もたまらないぐらい美味しかったです。それから3週連続で同じレストランに、同じ鍋料理を食べに行きました。

一人当たり大体1500円です、少し高いけど味としては満足です。ジャカルタには美人鍋のレストランは2ヶ所だけです。いつもたくさんのお客さんが並び、30分ほど待ちます。週末は予約できないため、できる限り早めに行くことあまり並んでいません。

KJI(インドネシア)(工場長:S.Akhyar)

～まだまだ飲める～

マイボトルに茶葉を入れて持ち歩く、中国でおなじみのそんな光景が変わりつつあります。

お茶好きの私は自宅や会社で中国各地のお茶を味わうのが楽しみの一つですが、街を歩くとコーヒーショップが爆発的に増えていることに驚きます。喫茶店(珈琲館)は昔からあるのですが、薄暗く、メニューもあまり気の利いたものがなく、次第に姿を消していきました。お茶派の私は「やはり中国はお茶だ」、と思っていたのですが、近年はスターバックスをはじめ、中国資本のコーヒーショップも急増し、いよいよ中国のコーヒー市場も戦国時代に突入です。スターバックスは中国全土で約5,000店舗を展開しており、KHEからも近い昆山市に約8万㎡の産業パークを建設中です。豆の輸出入から焙煎、物流まで手がける大規模拠点が間もなく誕生です。また、中国系のラッキンコーヒー(LuckinCoffee)は2017年の創業以来急成長し、あっという間にスタバを上回る店舗数を誇るまでになりました。そのほか、地域展開のチェーン、個人経営のショップなど様々です。また、雲南省はコーヒーの名産地でもあり人気が高まっています。ライフスタイルの変化は飲料文化へも影響を及ぼしています。

統計では中国全体のコーヒー消費量は一人当たり、年間わずか5.4杯だそうです。300杯を超えるアメリカに比べるとまだまだ『飲める』市場というわけですね。中国のコーヒー文化の発展、まだ当分続きそうです。

KHE(中国・蘇州)(総経理:山本 博史)

日本ではコロナ感染者数が劇的に減少していますね。原因はなんでしょうか?やはり国民性なのでしょうかね?

アメリカでは1日あたりの新規感染者数は、1ヶ月前と比べると半減(15万人強から約8万人)していますが、急減した日本と数字を比較すると100倍以上。死者数も減少してはいますが、未だ毎日1,500人以上が犠牲になっています。累計では70万人を超え、アメリカ国民の500人に1人がコロナで亡くなった計算になります。

そんな中でもアメリカでの生活はと言うとほぼコロナ前に戻っています。日本でも放映されたとは思いますが、MLBプレーオフ、ワールドシリーズは昨年とは違い大いに盛り上がりを見せました。たぶん観客席でマスクを着用している姿はなかったと思います。

NBAのシーズンも始まり、相変わらずアメリカン・フットボールは盛り上がりつつあります。さらにこれからハロウィン、収穫祭、クリスマスの季節を迎えます。我々はこれ以上の感染拡大は避けてもらいたいと

願うだけです。

ワクチンに関して公務員に対する義務化などでバイデン政権は接種率を高めようと努力しています。先日でも従業員数が100人以上の企業に対してワクチン接種の義務化を発表しました。

アメリカでは州や都市によって規制も異なっているので一概には言えませんが、ロサンゼルス郡は室内レストランの利用者にワクチン接種証明の提示を義務付けていますが、今のところ違反業者に対する処分はありません。サンフランシスコ市では8月よりレストランなどの室内利用に対してワクチン接種証明の提示を義務付けていて、先日ルールを守らなかった店舗を営業停止処分になりました。店側は処分を受けた後に「すべてのお客様に分け隔てなくサービスを提供することが自社のモットーであり、市のワクチン監視人にはなるつもりはない」と声明を出したそうですが、価値観や考え方の違いも今後の課題になりそうです。

KCS(アメリカ)(COO:板垣 仁志)

中華料理店でお客様と一緒に昼食をとる機会がありました。そのお店は高級店ではありませんが、毎日たくさんのお客様が訪れます。

いつものように中国茶をはじめとする小皿料理をたくさん注文しました。すると、小さい鯉が一匹入った湯呑が配膳され、ビックリしました。これを飲む方法は?

最初は魚の形をしたゼリーのようなものが入っているのかと思いましたが、どうやら湯呑の底に魚がついたデザインのようなのでした。

料理の美味しさだけではもはや十分ではありません。レストランは、味を超えて、顧客に新しい体験を提供する方法を模索しています。

KIO(シンガポール)(E.Wong)

オランダではウインタータイムが始まり、時計は自動的に1時間戻りました。サマータイムは、来年3月26日から3月27日の夜に始まります。

ウインタータイムの欠点は、初夏の早い時期に明るくなること。サマータイムの欠点は、冬に暗い時間が発生することです。サマータイム廃止は長い間議論されてきました。2018年に欧州委員会は、2019年でのウインタータイム固定案を提出しました。その後2021年まで延期され、保留されています。そのため、当面は何も変更せず、年に2回時計を変更しています。EU加盟国は、使用する時間を自分で決めることができます。しかし、議会は様々な異なる時間発生を防ぐために延期を決めました。オランダを含むほとんどのEU加盟国は、国民、企業、利害関係者の意見を聞くために多くの時間を要します。

時計を戻すと、主に健康上のメリットがあります。ウインタータイムは私たちの体内時計とより一致しています。オランダで施行されているサマータイムにも利点があります。たとえば、交通機関や建設機関は、サマータイムを好みます。彼らは早朝に作業を行うからです。

今なお、関連ページへアクセスすることはできません。そのため、当面、廃止案は棚上げになります。

KIO(オランダ)(Marvin de Laat)